令和７年度　彩の子ネットワーク共催講座実施報告書

名　　称	すべての人の中の「子ども」がひびきあう世界へ 子どもの育つ姿から、私たちの生きる道筋を探そう
目　　的	虐待やいじめ、家庭不和など子どもの心の健康を取り巻く状況の理解を深め、SOS を受け取った時に大人ができることは何か考える。
対　　象	一般、子育て中の方、子育て支援者等テーマに興味のある方
当日参加人数	24 名　　※うち保育利用7名
開催場所	上尾公民館　講座室501 （保育　講座室401）
日　　時	2026年2月10日（火）　14 時 00 分から 15 時 30 分
講　　師	山口有紗さん （小児科医・子どものこころ専門医）
開催内容	・子どもの育ちの土台をつくるアタッチメント、逆境体験やポジティブな体験が人生にどんな影響となるか。 ・こだわりってどんなことか。子どものこころの健康を取り巻く状況。 ・こころのしんどさを受け取ったときにできることは。 ・しんどい状況にあったとしても、安心して生きていけるようになるには。 ・すべての人が、その人の幸せの花をひらいていけるように、「トラウマインフォームド・ケア」や「コミュニティ・レジリエンス」の視点を共有。 ・誰の中にもある「子ども性」を大事にすることから、社会のあらゆること、政策の中に、子ども側からの視点を意識してつくることが、これからの時代を生きやすくできるのではないか。
参加者の声	・子どもたちのケアに注目しがちだけど、自分のケアもしっかりしたいと思いました。発達をスキップできない、見えていることは氷山の一角という言葉が印象的でした。自分の子どもが、もうまもなく100か月が過ぎるので、子どもの気持ちによりそって過ごすことができただろうかと、振返るきっかけになった。 ・子どもの権利を守ると、社会で言われてはいますが、まだまだ、先生のように本質的に考えを持つ大人は少ないと思います。子どもたちに「あこがれられる大人」を目指して生きていきたいと思います。
講座チラシ	

認定 NPO 法人彩の子ネットワーク講演会

困難女性支援 × はじめの 100 か月の育ちビジョン

子どもの育つ姿から、私たちの生きる道筋を探そう

～すべての人の中の「子ども」がひびきあう世界へ～

日時：2026 年 2 月 10 日（火）13 時～14 時半
場所：上尾公民館５０１・保育：４０１（上尾市二ツ宮 750）
講師：山口有紗さん（小児科医・小児科こどものこころ専門医）
定員：会場参加 50 人　参加費：無料　※講師は 14 時半までオンラインで講演を行います
対象：子育て中の方・子育て支援に関心のある方
保育：要事前申込み（1 人につき 300 円）
申込み方法：右のQR コードまたは下記連絡先の電話・メール
講演会・保育申込み フォーム

講演会終了後～15 時半：「地域でのつながりをつくろう」

「はじめの１００か月の育ちビジョン」ってなあに？

こども家庭庁から出された、赤ちゃん、子どもや養育する人の権利を保障し支えるビジョン。山口有紗さんは、どのようにとらえているのでしょう。

赤ちゃん・子どもはどう生きているの？どう育つの？

山口有紗さんが診察室で子どもたちから教えてもらったことや、最新の脳科学研究等から、改めて子どもの育ちを知っていきます。

子どもたちが安心して成長できて、必要な時には SOS を出せたり、その子の中のレジリエンス※が育っていってほしい。また、そんな状態に気づける関係でありたいと親たちは願う。

※レジリエンス：さまざまなつらさ(ストレス)に対して、それを跳ね返す力、弾性、しなやかさ

自分だけの力で生きていくのは難しい子どもたち。
けれども、親や家族に SOS を出してくれるとは限らないのではないだろうか。
子どもたちは親思い。親だからこそ、言えなかったりするかもしれない。

コミュニティ・レジリエンスを神っ餅に――

子どもに限らず、女性も、何があれば、たちまち生きるのが困難な状況に陥ります。妊娠を誰にも言えず、人知れず出産し、赤ちゃんが命を落としてしまうことも、相手の男性にとっても、それはどんなことなのでしょう。
そんな悲しい事件が起こらないように…、
たまたま運よく生き延びられた、というのでなく、誰もが幸せに生きられるように…。

誰もが、誰かのレジリエンスになりうるのだから―
どんな状況にある人も、支えられたり支えたりしながら、安心して生きていける、そんな街をみんなでつくりたい。

大人になった大たちが、ひとりひとりの中にある「こども」に出会うことで、今、目の前で困っているその子、その人の顔に近づくことができるのかもしれません。
子どもたちの生き方から教えてもらいましょう。
一緒に、考えてみませんか。

講師：山口有紗さん プロフィール
小児科専門医・子どものこころ専門医。
公衆衛生学修士。高校中退後、イギリスで高卒と大学受験資格学校での学びを経て医師となる。現在は子どもの虐待防止センターに所属し、施設の児童相談所などで相談業務に従事。国立成育医療研究センター共同研究員。こども家庭庁アドバイザー。近著は「子どものウェルビーイングとひびきあう――権利、声、「尊厳」としてのこども」（明石書店）、「きょうの診察室 子どもたちが教えてくれたこと」（岩波書店）。

【お申込み・お問い合わせ】
認定 NPO 法人彩の子ネットワーク
住所：〒362－0014
上尾市本町2-13-8長井団地１階
電話：048－770－5272
FAX：048－770－5270
メール：office@sainoko.net
講演会・保育申し込みフォーム

主催：認定 NPO 法人彩の子ネットワーク　共催：上尾市男女共同参画推進センター